

平成 23 年 7 月末からの群馬用水の濁りについて

群馬用水の水が若干濁った状態となっています。これは 7 月末の利根川上流の豪雨による利根川の濁りの影響と考えられます。

8 月初めは濁度が高い状態でしたが、8 月 31 日時点では濁度は低くなっていますが、通常に比べると少し高い状態です。

群馬用水から供給している上水道は、濁度が高い間も浄水処理により水道用水の供給を維持していただいています。

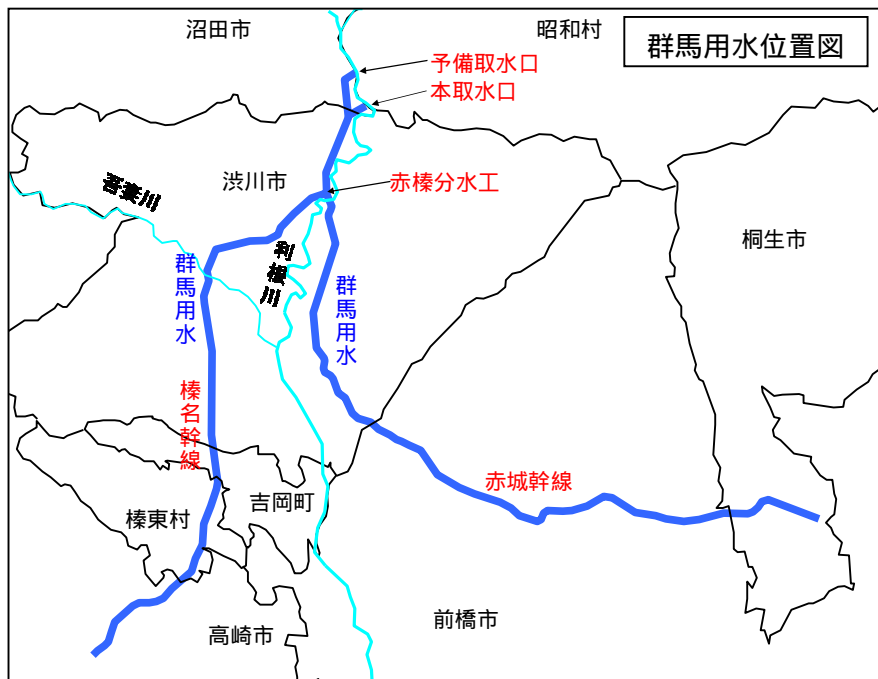
なお、群馬用水の水は利根川の濁りが継続する間は影響されることとなります。さらに、上流域の降雨により一時的な濁りも発生しますので、ご理解の程よろしくお願い致します。



写真1 赤榛分水工（8月1日）



写真2 赤榛分水工（8月25日）
濁りが少なくなっています



(参考)群馬用水の濁度の経過

7月24日には約3ppmの赤榛分水工地点の濁度は7月30日未明から急上昇し高濁度となりました。8月1日以降は、下降傾向を示していますが、8月31日0時で約21ppm以上となっており、濁度が通常より少し高い状態となっています。(図の赤囲み)

また、利根川等の上流域で降雨があった場合は、その都度濁度の上昇がみられます。(図の緑囲み)

なお、群馬用水では7月28日22時頃から8月5日11時頃の間は予備取水口からの取水としています。(図の青矢印の範囲)

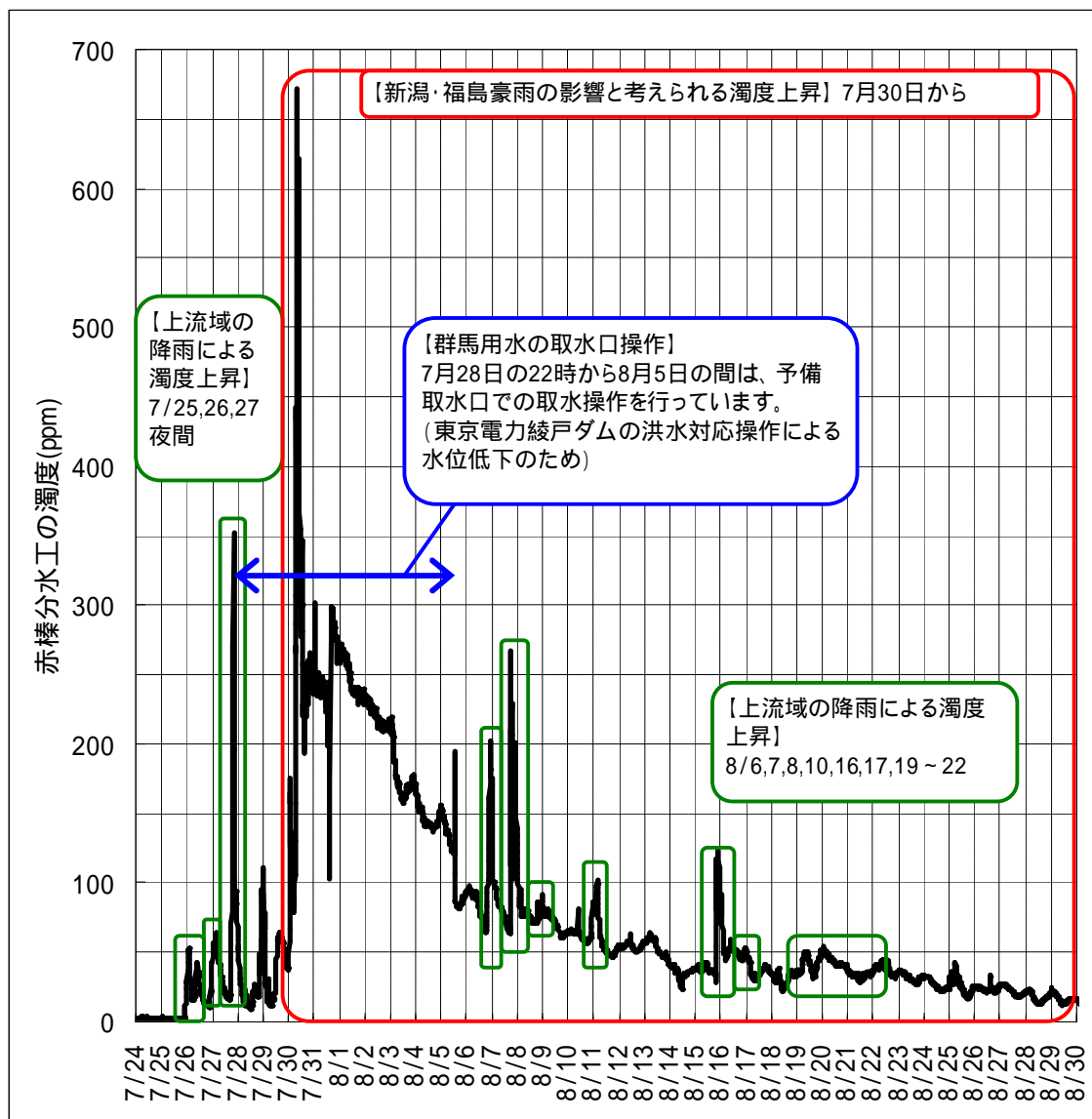


図 群馬用水の濁度の経過